



「国際センターだより」では、土木学会の国際活動の一端を紹介しています。国際センターが毎月発行している「国際センター通信」と合わせて是非ご一読ください。

News Pick Up !!

第2回留学生向け現場見学会開催報告



現場見学の様子

留学生グループでは、日本で学ぶ留学生に日本の最先端の土木技術を知ってもらうとともに、土木関連企業に関する情報提供を目的として、留学生向け現場見学会を開催している。

昨年に続き2回目となる今回は2016年1月21日(木)に、国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務局にご協力いただき、天ヶ瀬ダムで実施した。関西圏の大学に所属する留学生17名が参加し、天ヶ瀬ダムおよび再開発事業のうち、ゲート室部、減勢池部、白虹橋上部工、流入部の4現場を見学した。見学会後の企業説明では、施工者5社からプレゼンテーションがあり、各社からはプロジェクトや業務内容、海外展開等に関する情報提供があった。

大断面の立坑や施工中のトンネル坑内など普段は目にするここのない現場を訪れ、可視化技術などの高度な技術に触れるという経験に加えて、現場の第一線で活躍する日本人技術者、日本企業に接することもでき、留学生にとって日本の土木技術を知るうえで貴重な機会になったと考えている。

今後、留学生グループでは開催方法を改善しながら継続的に見学会を開催していく予定である。

グローバルビジョン講演会2016 建設産業のグローバル戦略『建設産業のM&Aに学ぶ』編 開催報告

国際センターと建設マネジメント委員会の共催による「グローバルビジョン講演会2016「建設産業のグローバル戦略」～建設産業のM&Aに学ぶ編～」を2016年4月8日に、国土交通省と米国大使館商務部の後援を得て、70名を超える参加者を集めて開催した。

我が国のインフラ整備の経験を我が国の経済成長につなげていく成長戦略が極めて重要であり、近い将来、国内での新規建設投資の縮小が見込まれる中、海外事業を国内事業と並ぶ重要なビジネスのコアとして明確に位置付けることが必要である。そのためには、政府開発援助(ODA)事業のみに頼ることなく、世界の建設市場に対する戦略的な行動を継続していかなければならない。

そこで、世界のグローバル企業とともに、建設産業のグローバル戦略を語り、我が国の建設産業の海外展開戦略を考えるきっかけとしていただけるよう、本講演会を企画した。

基調講演では、岡積敏雄氏(国土交通省)から、インフラシステム海外展開の取り組みについて講演いただき、栄枝秀樹氏(AECOM ジャパン)とイアン・チュン氏(AECOM アジア)から、M&Aという手段を活用したAECOM社の成長戦略、買収後の経営と新たなビジネスモデルなどを紹介していただいた。

Event Calendar

- 2016年9月7日～8日 … 平成28年度全国大会国際関連行事：ラウンドテーブルミーティング(テーマ：建設生産システムの変革に向けたCIMへの期待)、特別討論会(テーマ：これからの我が国の国際貢献について) 他(東北大学・仙台国際センター)

国際センターが企画する2016年度のイベント(行事)については、以下のURLでアクセスし、「イベント情報&開催報告」をご覧ください。

<http://committees.jsce.or.jp/kokusai>

News Pick Up! と Event Calendar の詳細は、毎月発行の「国際センター通信」をご覧ください。「国際センター通信」は学会ホームページ(日本語版・英語版)からもアクセスできます。また、メール配信を希望される方は、国際センター事務局までメールにてお申し込みください。 ※国際センター事務局 e-mail : iac-news@jsce.or.jp

■ 国際部門ホームページ(日本語版) : <http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/26> ■ (英語版) : <http://www.jsce-int.org/>
■ Facebook : (日本語版) <http://www.facebook.com/JSCE.jp/> ■ (英語版) : <https://www.facebook.com/JSCE.en>